

「開催報告」

平成 27 年度中部支部総会、安全セミナーおよび懇親会



平成 28 年 3 月 19 日、名古屋栄の中日パレスにおいて、操縦士協会中部支部の平成 27 年度総会が開催され、27 年度の活動報告と委員交代、28 年度の活動計画が発表されました。引き続き、安全セミナー、懇親会が開催され、多くの参加者で賑わいました。

以下、その模様を報告いたします。

「中部支部総会」 14:00～14:30

※ 議事内容については、2 月 12 日中部支部役員会において、すでに承認されたものです。



協会本部 下枝会長



活動報告：原 支部長

1、 協会本部挨拶 下枝会長

操縦士協会が公益社団法人となって4年、約款の改定をはじめ、以下のいろいろな問題に取り組んでいく。

- (1) 事業として、T&E マネジメント講習を始める
- (2) 40～50 歳代の現役パイロットの大量退役が始まる、いわゆる 2030 年問題に対し、ライセンス就職斡旋や、航空局と協調し、パイロット養成連絡協議会の立ち上げなど。
- (3) 無人航空機との空域の棲み分け、衝突予防等で、パイロット・サイドからの要望をとりまとめる。

2、 総会議事

(1) 平成 27 年度活動報告 原 支部長

航空安全講習会、航空教室(Yes I Can)、支部長会議、支部役員会などの活動報告。名古屋空港の管制交流会は好評で、来年度も行っていきたい。

(2) 平成 27 年度支部活動収支報告 原 支部長

適切に管理されている旨、報告。

(3) 平成 28 年度支部役員紹介

理 事	林 晃一	：	川崎重工（株）	
支 部 長	原 稔	：	中日本航空（株）	
副支部長	具志 賢治	：	名古屋市消防航空隊	
副支部長	中里 巧	：	三菱重工（株）	
支部委員	青木 富男	：	（株）セコインターナショナル	
支部委員	吉田 善彦	：	名古屋空港自家用機協議会	
支部委員	木島 浩一	：	三菱重工（株）	
支部委員	柴原 悠	：	新日本ヘリコプター（株）	奥本 進介氏から交代
支部委員	飯干 亮一	：	川崎重工（株）	和田 光範氏から交代
支部委員	松尾 学	：	中日本航空（株）	木滑 和明氏から交代
支部委員	野口 義博	：	自家用	
支部委員	野寺 芳成	：	朝日航洋（株）	

以上 12 名

(4) 平成 28 年度活動予定 原 支部長

平成 27 年度並みに加え、小牧基地の見学会を計画。

(5) 質疑応答
特になし

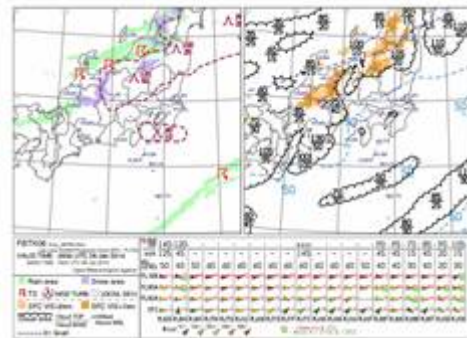
「安全セミナー」 14:30～16:30

総会に引き続いて安全セミナーが開催され、JAPA 航空気象委員会 山本氏、箱崎氏から、小型機向けの新しいシステムである、「下層悪天予想図」の紹介とその活用法についての講義があり、約 40 名の参加がありました。

「下層悪天予想図の運用」 JAPA 航空気象委員会 山本秀生氏、箱崎順之氏



セミナー講師
山本秀生氏、箱崎順之氏



下層悪天予想図(サンプル)

下層悪天予想図は、JAPA など 4 団体の要望により、2014 年 3 月から気象庁が運用を開始している予報システムである。

2km 間隔の LFM から自動作成され、大型機、ジェット機向けの悪天予想図 FBJP などと違い、FL150 以下の低層の雲や乱気流の状況などを全国 6 分割、3 時間ごとに 3, 6, 9 時間後の予想図として提供している。

Metair(航空気象情報提供システム)から取得できるが、その提供は気象官署がある(あった)空港や一部の航空事業会社等に限定されている。小型機、ヘリコプターなどにとっては大変有用なものであり、今後幅広い公開を望みたいとのこと。

その後、自家用パイロットの箱崎氏から、下層悪天予想図を活用していれば防げたであろう山岳派との遭遇事例や、天候の推移を見定め出発時刻を決めるなどの活用事例の紹介があり、出席者は興味深く聞き入っておりました。



安全セミナーののち、16:30 より恒例の懇親会が行われ、JAPA 会長やセミナー講師のお 2 人を交えて、日ごろの空の上だけでなく地上でも親交を深められました。